

## 八戸市企業の人手不足受け

人口減少により深刻化する地元企業の人手不足解消に向け、八戸市は10日、外国人材受け入れに関するセミナーを、2025年度から初めて開催する方針を示した。市内にある企業や事業所を対象に本年度実施した人材ニーズ調査を踏まえた取り組み。八戸産学官連携推進会議(会長・熊谷雄一市長)の連携事業に位置付け、関連経費を市の25年度当初予算案に盛り込む。

(田村祐子)

### 25年度、産学官連携事業

同日、市庁で開かれた同 席上、熊谷市長は「国際会議の会合で、事務局の政策的な競争が高まり、人材獲得が難しくなっている」とした。ニーズ調査では、人材情報もあり、受け入れ体制不足の中でも約9割の企業が「外国人を雇用しておらず、多くが受け入れ体制や制度への知識不足などを不安視している現状が浮かん

だ。外国人雇用に関する理解を深めるため、市は雇用方法や制度について企業に解説するセミナーを開く方針を固めた。セミナー開催は11~12月を予定し、運営は主に八戸商工会議所が担う。大学の外国人留学生に関する取り組みを紹介することにより、市内企業とのマッチングも促す。

このほか、同会議の新たな連携事業として、夏休み期間に約1カ月間のインターシップを実施するほか、イオン下田(おいらせ町)の30周年イベントに参加し、高等教育機関や市内企業のPRイベントを行う予定だ。

同会議は市のほか、八戸商議所、八戸学院大、八戸学院大短期大学部、八戸工業大、八戸高専で構成している。

# 外国人材セミナー初開催へ